

## 株式会社タムロン

### 2021年12月期第2四半期決算説明会

日時：2021年8月6日（金）16:00～17:00

#### 【主な質問と回答】

**Q1. 2021年の自社ブランド新製品は説明会資料記載の5機種となるのか？**

**A1.** 説明会資料には記載していないが、この5機種以外にも年内投入を計画している機種がある。

**Q2. 自社ブランドに占めるミラーレス比率はどの程度なのか？**

**A2.** 自社ブランドのミラーレス比率は、上期では約65%であり、下期は更に75%程度に高まり、通期では約70%と見込んでいる。

**Q3. 自社ブランドの平均単価の実績や今後の見通しは？持続性をどうみているか？**

**A3.** 想定以上に平均単価は上昇しており、今後も上昇するものと考えている。

**Q4. 上期から下期にかけて交換レンズ市況が悪化する可能性はあるとみているか？**

**A4.** 大きく市況が悪化することはあまり想定していないが、電子部品の調達面でのリスクは認識している。

**Q5. 監視&FAの売上・利益の下方修正の要因はなにか？**

**A5.** TV会議用の低迷が継続している。また中国市場向けは伸びてはいるものの、大手カメラメーカーで一部開発機種での企画変更や開発の遅れが生じたことや、部材の供給面等の影響で、投入時期の遅れが見込まれるため。

**Q6. 監視&FAにおける2021年、2022年以降の中国向け売上高の成長率は？**

**A6.** 中国向け売上高は、2021年は約20%増、2022年以降は2021年以上の成長率を見込んでいる。

**Q7. 売上・利益とも上期の上振れ額に対して、通期計画の引上げが少なめだと感じるが、こういった要因で下期を実質下方修正したのか？**

**A7.** 売上高は引き上げている。しかし、利益面では部材の先行手配等のコスト増や製品ミックスによる粗利率低下に加え、人件費や研究開発費、通常のオペレーションコスト、広告・販促費等の増加や、中長期施策のための先行研究開発費用・経費増加を見込むため、引き下げた。

**Q8.** 2021 年通期の設備投資は 26 億円とありますが、これはどのようなところに使うのか？また上期ではこのうちどの程度使ったのか？

**A8.** 内容としては、金型や工場設備や自動化設備、新規開発の生産設備に投資している。上期の設備投資額は約 8 億円だった。

**Q9.** 将来のための投資を行うとのことだが、これによる利益影響はどの程度なのか？またセグメントでは監視&FA で計上されるのか？

**A9.** 2022 年に向けてというよりは、もっと将来に向けた先行投資を考えている。レンズメーカーとして技術力を進化させるための先行投資であり、監視&FA 分野だけではなく、全事業にまたがるものである。なお、これまでにに対して極端に増やすものではないため大きな利益影響を与えるものではない。

#### <ご留意事項>

本資料は、決算説明会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載しており、説明会でお話したことをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。